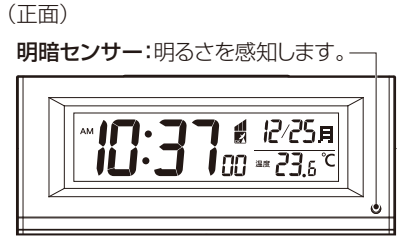


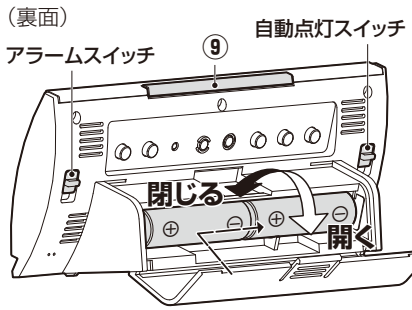
電池は付属しておりません。単3形アルカリ乾電池を2個ご用意ください。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。



※液晶の表示は見る方向により薄くなったリムラになったりします。



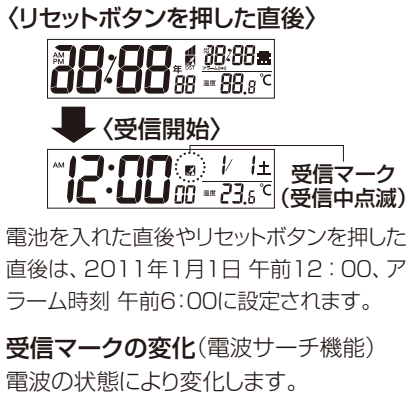
単3形アルカリ乾電池(推奨) 2個
1個目の電池は、左側に入れてから右側に移動させてください。

注意 電池の⊕⊖を逆に入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

1 電池を入れて、標準電波を受信して日時を合わせる

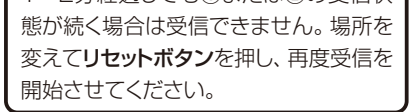
標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、**手動での時刻合わせ**をお読みください。

【受信の流れと表示】



電池を入れた直後やリセットボタンを押した直後は、2011年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。

受信マークの変化(電波サーチ機能)
電波の状態により変化します。



チェック!
1~2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。

最長20分後<受信終了>
(表示例)



- 受信マークは受信成功後、24~25時間点灯。
- 受信に成功しても、電気的なノイズにより誤った時刻や日付を表示することがあります。このようなときには、場所を変えてリセットボタンを押して再度受信を試みてください。

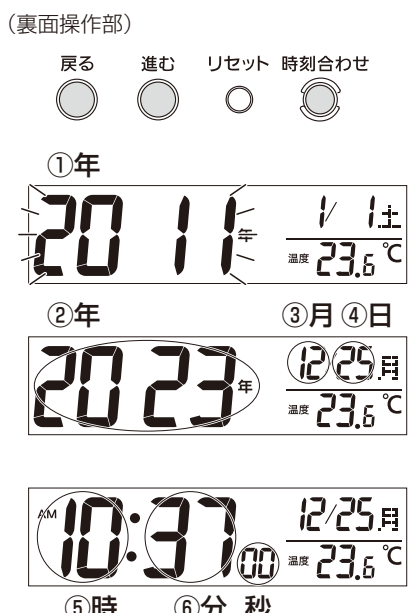
標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくことで受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

標準電波を受信できないときには、手動で日付と時刻を合わせてご使用ください。

手動での時刻合わせ …電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

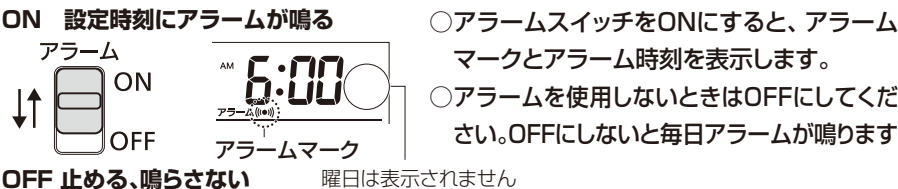
操作例に従って、年(西暦)、月、日、時刻(時/分)の順に設定してください。



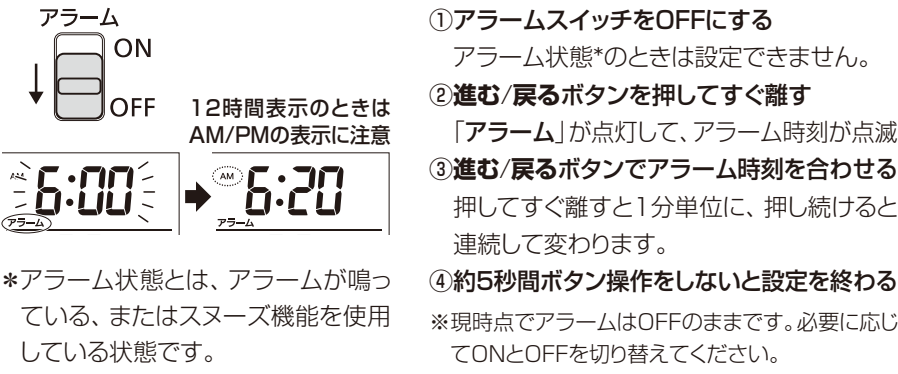
- 約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して、時刻合わせを終わります。
- アラームが鳴っているときやアラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても日時の設定には切り替わりません。
- 電波受信機能がONの場合、手動で時刻合わせをしても自動受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。
- 標準電波を受信できないときの時間精度はクォーツ精度になります。

2 アラーム機能を使う

アラームスイッチのON/OFF設定



アラーム時刻を合わせる



■オートストップ機能(自動鳴り止め)
鳴っているアラームを放置すると約2分間鳴って止まります。

■アラーム音の試聴
モニターボタンを押すと約2分間アラームが鳴ります。途中で止めるには、再度モニターボタンを押してください。
※電波の受信中や日時、アラーム時刻の設定中、アラーム状態では使えません。

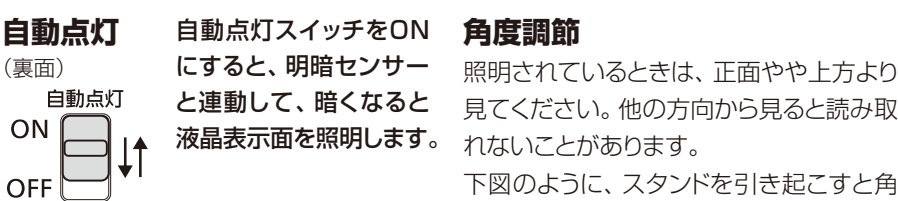
■スヌーズ機能(止めてもまた鳴る)
アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、アラームマーク(●)が点滅して約5分間アラームが停止してからまた鳴りだします。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズボタンを押すとアラームは停止し、アラームマーク(●)は点灯表示になります。

表示の切り替え



次の状態のときは、表示の切り替えが出来ません。
●電波の受信中 ●アラーム状態 ●アラーム時刻、カレンダー、時刻の設定中。

液晶表示の照明と角度調節



電波を受信しやすくするため、**電波を受信しているときは消灯します。**
昼間や室内照明がされていても、明暗センサーが暗いと判別したときは点灯します。

手動点灯
スヌーズボタンは、ライトボタンを兼ねています。ボタンを押すと表示面が約3秒間、自動点灯より明るく照明されます。

温度表示について

本製品は一般的な家庭やオフィスの室内用です。
○直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。
○設置する高さによっても温度に違いがでます。
○センサーが時計内部にあるため、周囲の温度の変化をすぐには反映しません。
○温度の測定は1分間隔で行います。
※温度の厳密な管理、温度の証明や取引には使用できません。
測定範囲を超えたときの表示とその意味
温度「HH.H」50℃を超える高温 「LLL」-9.9℃未満の低温

電池の交換について 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

注意 電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。液漏れや発熱、破裂を防ぐために次のことをお守りください。

- 液晶表示が薄くなったら速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。
電池は照明機能を使用しないと長持ちしますが、放置すると液漏れが発生しやすくなります。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能OFF(無効にして手動で時刻を合わせる)
リセットボタンを約1秒間隔で3回押してください。
○「ピ」と鳴ってから押してください。
○OFFになると「ピ」と鳴りません。
○日付と時刻は手動で合わせてください。
※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作をやり直してください。
※電池を入れない状態で、放置すると受信機能はONになります。

強制受信について

場所を移動したときなどに、強制受信ボタンを押すと受信を開始します。受信に失敗しても日時やアラーム時刻は継続して表示します。
アラーム状態(アラームが鳴っている、スヌーズ中)のときや日時またはアラーム時刻を設定しているとき、受信機能がOFFになっているときは強制受信ボタンを押しても受信を開始しません。